

ODAWARA

2024年12月期（第46期）  
**第2四半期（中間期）**  
**決算説明資料**

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2024年8月13日

**ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.**

# ○経済の動向

## 《我が国の経済》

- ・ 個人消費の持ち直しの動きに足踏みが続いた
- ・ 企業収益・雇用情勢の改善や設備投資に持ち直しの動きがみられた
- ・ 景気は緩やかに回復した

## 《世界経済》

- ・ 中国…政策効果により景気持ち直しの兆しがみられた
- ・ 米国…設備投資や個人消費の上昇、雇用者数の増加を背景に景気は拡大した
- ・ 欧州…景気は弱含んでいた
- ・ 全体…持ち直しの動きが続いた

# ○当社グループを取り巻く環境

«巻線機事業の主要顧客である自動車産業の動向»

- ・ 脱炭素化に向けた車の電動化という世界的な流れは持続
- ・ B E Vの伸び率が減少する一方H E Vは続伸するなど、B E VからH E V・P H E Vへのシフトが目立った

(懸念点)

- ・ 物価の高騰や原材料価格の高止まり
- ▶依然として先行き不透明な状況が続く

# ○連結業績概要

## 《営業成績》

(単位：百万円)

指標	実績	前年同期比	増減要因
売上高	4,635	41.5%減	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 巻線機事業のx E V用モーター巻線システムのいくつかの大型案件が顧客工場で現地立ち上げ中となっているものの引き渡しが完了しなかった</li> <li>▶ 送風機・住設関連事業が低調だった</li> </ul>
営業利益	467	64.4%減	
経常利益	560	59.5%減	
親会社株主に 帰属する 中間純利益	392	60.4%減	

# ○連結セグメント業績概要

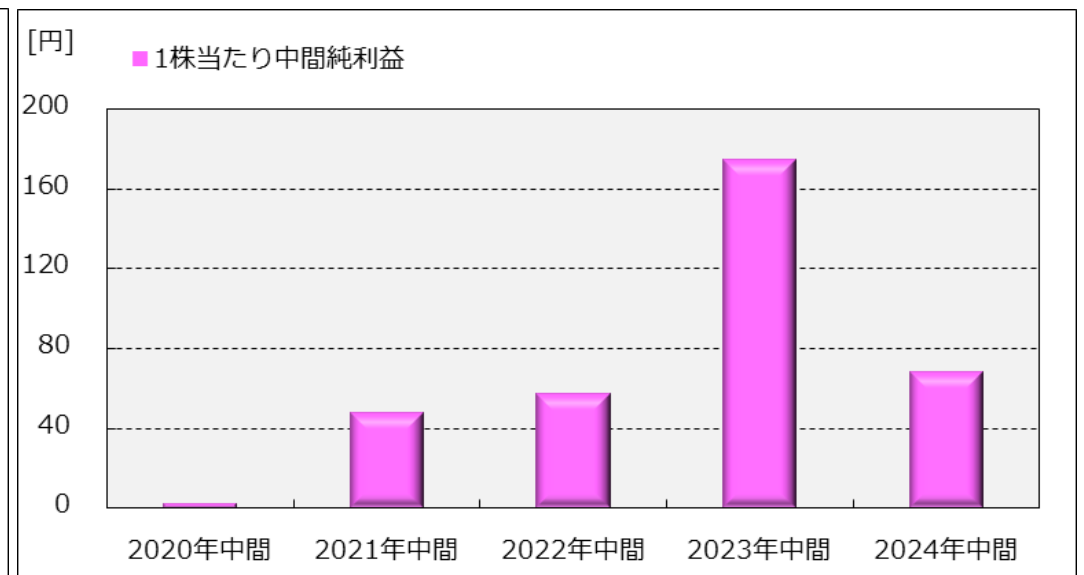
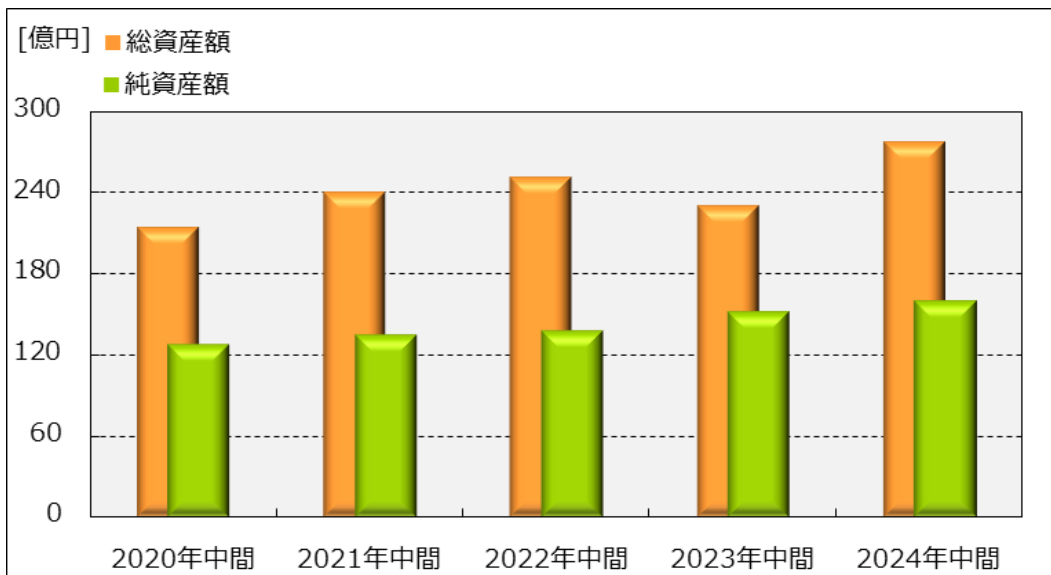
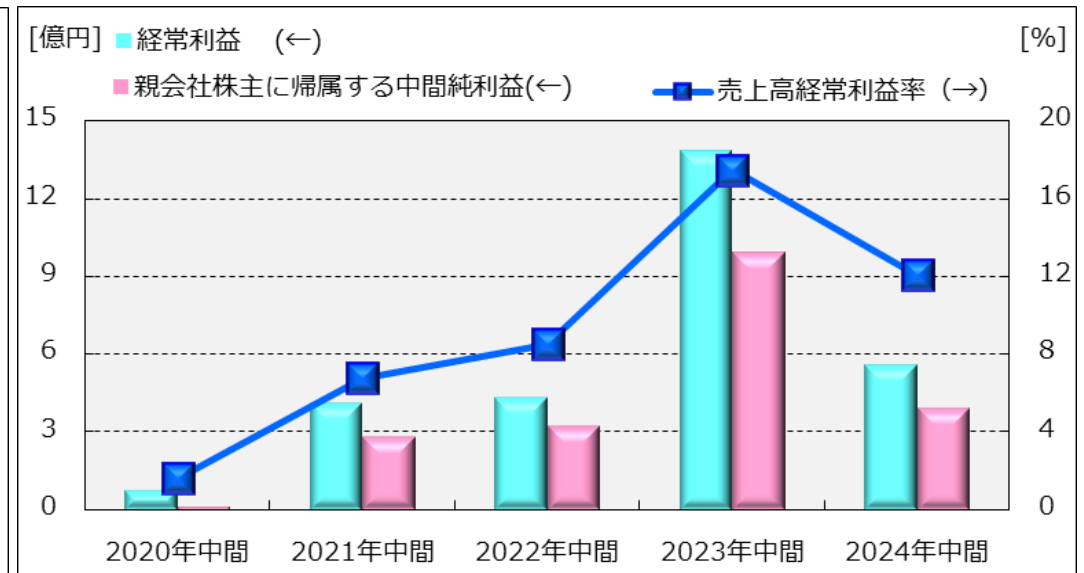
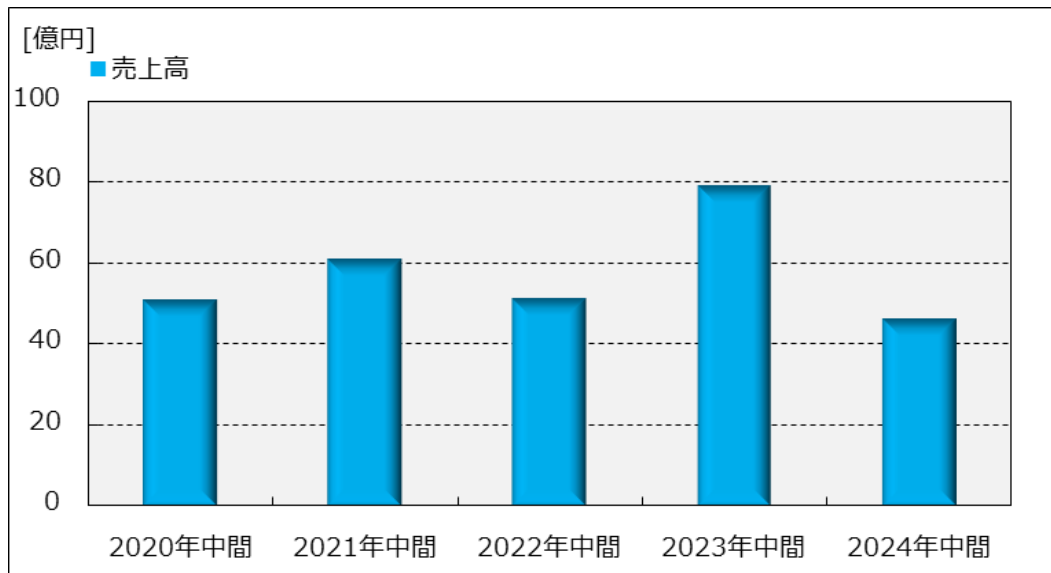
## 《セグメントの業績》

(単位：百万円)

セグメント	実績	前年同期比	増減要因
巻線機事業	売上高	2,652	51.3%減
	セグメント利益	681	50.5%減
送風機・住設関連事業	売上高	1,982	19.9%減
	セグメント利益	▲51	—

※送風機・住設関連事業における前年同期は75百万円のセグメント利益

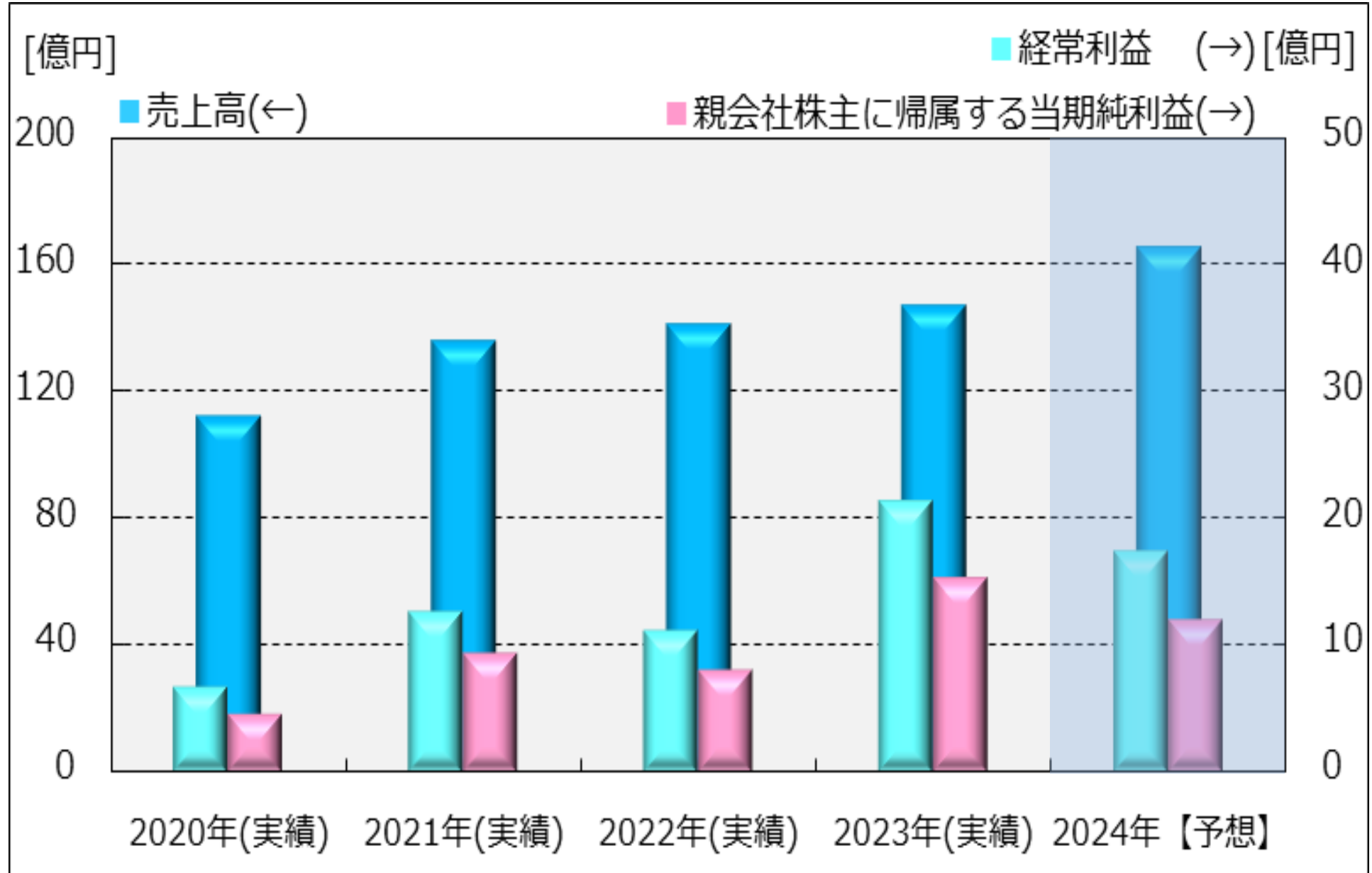
# ○連結業績の推移



# ○連結業績の推移

	2020年中間	2021年中間	2022年中間	2023年中間	2024年中間
売上高 (百万円)	5,083	6,117	5,123	7,927	4,635
経常利益 (百万円)	82	413	436	1,385	560
親会社株主に帰属する 中間純利益 (百万円)	16	285	327	993	392
純資産額 (百万円)	12,775	13,466	13,785	15,153	15,999
総資産額 (百万円)	21,496	24,046	25,224	23,133	27,785
1株当たり中間純利益 (円)	2.74	48.42	57.68	174.79	68.98
売上高経常利益率 (%)	1.6	6.8	8.5	17.5	12.1

# ○連結業績予想





## ○連結業績予想について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものであります。今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

⑦ 株式会社 小田原エンジニアリング